学生振袖クラシックの部（美容学校生対象）

競技要綱

(1) 競技種目

モデルを使用し、振袖の着付けと帯結び、ヘアスタイル、メイクアップなどの総合美と技術性を競う。
帯結びは花の舞・ファンタジー・花立矢・二枚扇・ふくら雀のいずれかとする。

(2) 競技規定

1. 審査ポイント

トータルビューティな視点からの創造性・調和美を対象とする。

2. 競技時間　ヘアスタイル・メイクアップ・補正・長襦袢着付　……　60分（監視員立会いの下、控室にて行う）
振袖着付・帯結び　……　20分（競技会場にて行う）

3. 競技の前準備

① 帯は、てさきを上にして屏風だたみにし、必要な小物類を準備する。
② モデルは足袋をはき、肌着を着用した状態（整えてはいけない）で待機する。
③ ヘアメイクに必要な道具を所定の位置に並べ準備する。

4.競技方法

競技は監視員の指示の下、控室にてヘアスタイル・メイク・体型補正・長襦袢までの着付けを60分で行う。（移動のため、着物を羽織り、衿止めをし、着物の裾を上げて合わせ、腰紐を仮に締める。競技位置で腰紐を外し、裾を下ろして準備する。）
次にステージにて振袖着付け・帯結びを20分間で行う。

(3) 競技規定および禁止事項　※違反者は減点もしくは失格となります。

1 選手・モデルは、現在美容学校に在学中であること。（モデルは各自同伴のこと）
2 モデルに使用する衣裳、下着、小物類・ヘアメイク道具一式、草履は各自持参のこと。
- ・着物・・・振袖（伊達衿使用）
- ・長襦袢・・・一部式または二部式で白半衿を使用
- ・帯・・・袋帯
- ・和装下着…裾除け肌襦袢またはワンピース式も可
- ・紐類…腰紐・仮紐・伊達締め・伊達巻き・三重紐・四重紐、いずれも可
- ・小物類…補正用品・足袋・帯枕・帯板・帯揚げ帯締め・クリップ6本以内（洗濯バサミ不可）

3 選手同士の用具の貸し借りはしないこと。また用具等の忘れ物があっても、大会本部からの貸出しは一切しない。
4 著しく完成された補正用品の使用は禁止。
5 着物ベルトの使用は不可。
6 刺繍半衿の使用は不可。
7 帯や着物に印を書いたり糸印をつけておくことは不可。
8 帯結びの際に完成された器具の使用は不可。
9 おはしょりに半紙又はパネロン及びタオルを使用してもよい。
10 おはしょりの前後衿先はクリップで止めてもよい。
11 助手の同伴は一切認められない。
12 モデルが紐、帯あげ等を結ぶことは認められない。（但し紐・帯あげ等を持つことは差し支えない）
13 モデルは競技開始前にヘア（ピンカール・ローラー・アイロン等）、メイク（メイク下地・ファンデーション等）をしてはならない。
14 ヘアメイクの競技時間内、モデルが補助をすることは一切禁止。

(4) 当日の注意事項

1 当日の行動は監視員の指示に従うこと。
2 競技中、選手同士または観客と話しをしてはならない。
3 競技中、選手とモデルは必要以上の話しをしてはならない。
4 競技中、他の選手に迷惑をかける言動をしたり、監視員の指示に従わない場合は、退場を命じることがある。
5 競技終了後、選手はモデルに一切触れてはならない。
6 競技終了後、選手はただちに用具その他のものを持って、退場しなければならない。
7 審査終了までモデル自身が手直しすることは一切認めない。
8 表彰式の際、受賞者はモデル同伴で指定された場所へ移動すること。
9 入賞者は記念撮影をするので表彰式終了後速やかに指定の撮影会場へ移動する。
※貴重品の紛失・盗難につきましては、主催者側では責任を負いかねますので各自充分ご注意下さい。

(5) 選手の服装

選手の服装は白の上衣、黒のスラックス。女子は肌色のストッキング、男子は黒のソックス(素足不可)
靴は脱ぎ履きしやすいものに限る（ピンヒール・サンダル・ブーツ・スニーカー 不可）

(6) 審査事項

大会運営規則に基づき委嘱された審査員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、審査業務を行う。

(7) 監視事項

大会運営規則に基づき委嘱された監視員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、監視業務を行う。

(8) 採点精算

大会運営規則に定められた「職務要綱」に記載する。

(9) 順位決定

順位の決定は審査員の採点の合計点に基づき、実施する。

(10) 表彰

入賞者の数については、出場選手の数に応じて大会実行委員長が決定する。